

医工連携イノベーション推進事業（地域連携拠点自立化推進事業）  
事後評価結果報告書

1. 研究開発課題名 : 東北地域の資源を活かした広域連携拠点自立化に向けた研究
2. 研究開発代表者氏名（所属） : 小林 利彰（一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構）

<評価コメント>

拠点が保有する事業化支援のノウハウを公開し、東北大学病院臨床研究推進センター等との協力により、医療機器エコシステムが地域に根付くことを目指した活動を行った。また、模擬手術室やEMC電波暗室など独自の安全性試験施設を活用し、医療機器開発公募事業への申請件数など、設定した目標項目を概ね達成している点は高く評価できる。

今後のさらなる発展のために、試作に向けてのマッチング・試作開発支援にはより一層の注力が求められる。

特にニーズ発掘から試作開発段階への落とし込みや、難易度の高い医療機器の試作に挑戦する企業をマッチング候補として確保することなどの取り組みが期待される。また、属人的になりがちな支援に関するノウハウを機関に定着させつつ継続的に専門人材の育成する方法の検討が望まれる。

以上